

大日本帝國政府

寫

極
祕

第

年

月

日

號

案

卷

四

六

八

年

月

日

發

遣

日

書

旨

合

款

昭

和

年

月

日

外務局長原口

機務課長入保

機本調

大臣 丁

主計局長 裴木

第一課長 藤田

銀行局長 山縣

特別銀行課長 関田

次官 了

機務局長 遠水

文書課長 遠水

機械

企畫課長 野田

中南支那事務整理委員会副秘書

中南支那事務整理委員會停止ニ關シ現地三日到紙第二「中南支那事務整理委員會一ノ成り成程改定會有之去ル三月十六日總務省關ニ於テ當該改組並當事變ヨリ過般ノ省議ニ於ケル御審議ノ趣旨ニ成り別紙第一ノ」

大日本帝国政府

俱萬電稿

記」ノ如ク申入レ此ノ通り御省間ニ窺見ノ一致ナ見、尙為空洞紙第
一ノ如ク大東運省支那事務局理財課漫宛通報被置候案

(國定規格印
一八二×三至七)

寫
極祕
府政國帝本日大

昭和十八年三月十六日

大藏省外貿局總務課長

大東亞省支那事務局理財課長

中兩支車票金理要領ニ關スル現地來ニ該スル審議ニ於テ特ニ當省トシテ意見アリ該係官意見一致テ此タル點左記ノ通り爲念申入候

大日本帝國郵便

郵便

官

大日本帝國郵便

モヤニシテリ 諸島官吏一處モ取扱ひ 電信局人共
中通支那銀監理局附ニ於クハ其事務ニ附ス 並審査ニ付ケルニ斯セイ

大東亞音文事務局監理局

明治十八年二月十六日

大東亞音文事務局監理局

記

- 一、車票新規發行取止ニ付テハ車ノ經理調協圖面券半面狀況ヲ充分考
慮ノ上混亂動搖ヲ避タル如ク特ニ配意スルコト
- 二、要領其ノ十二、十四號ハ別途當署ト打合セラレ度モコト
- 三、要領其ノ二、十四號ハ現地ニ於ケル正當ナル為替送金許可手續ノ
間易化ノ意ニシテ當省トシテハ資本額還流ニ付テハ本邦並國上ノ形
審チモ考慮シ所要ノ統制ナ行フコト

大日本帝國政府

大日本帝國政府

極祕

大日本帝國政府

別紙第二

中南支軍票整理要領 (一八三一三)

第一 方 针

軍票ノ新規發行廢止後ニ於ケル市面流通軍票及軍票預金等ノ處理ハ
儲備券印刷輸送能力、儲備券價值ニ及ホス心理的悪影響、通貢工作
轉換ニ際スル投機換物運動ノ敵化懸念等ニ鑑ミ急速ナル回収及切替
ヲ避ケ漸進的之ヲ行ヒ以テ中南支經濟ニ興フル不安動搖ヲ因避スル
モノトス

第二 要 備

其ノ一軍票

一四月一日以降市面流通ノ軍票ハ原則トシテ自由流通ニ導スルコト

大日本帝國勅令

蘇聯

ニ、三月三十一日現在而隊及官廳ニ於テ保有スル軍票ハ右ニ准シ
除キ之ヲ四月一日軍票價值平衡資金勘定ヲ以テ備惣券ニ交換スル
コト
四月一日以降部隊及官廳ニ於テ受入ル軍票ハ右ニ準シ速ニ備備
券ニ交換スルコト
三、三月三十一日現在金融機關（邦人銀行、中央儲備銀行、華興商業
銀行、以下同前）ニ於テ保有スル軍票ハ四月一日必要已ムヲ得サ
ルモノヲ除キ之ヲ軍票價值平衡資金勘定ヲ以テ備惣券ニ交換スル
コト
四、四月一日以降金融機關ニ於テ受入レ又ハ取得スル軍票ハ右ニ準シ

ニ、四月一日以後軍票面額を原額ハ取扱オセヤ自由通貨ニ替スルコト
其ノ一軍票

第二章

テイイズ

大日本帝國政府政令

大日本帝國政府

四月一日以軍票金額變動ニ倣ヤ受入ノ又ハ郊外又軍票ハ除ニス

六十

小字、又車手二キ車票附點平添貯金額室ニ以テ替御袋ニ交換スル事
暫シ、期年同様ニシカケ、前日又車票又車票又車票又車票又車票又車票
三月三十一日後亦發給開端ヘ將人通音ニ中央通音連符ニ接觸開端
終ニ交換次第ニ付近ニ經由御車票又車票又車票又車票又車票又車票
前日以軍票金額變動ニ倣ヤ受入ノ又ハ郊外又軍票ハ除ニス

六十

小字、又車手二キ車票附點平添貯金額室ニ以テ替御袋ニ交換スル事

三月三十一日後亦發給開端ヘ將人通音ニ中央通音連符ニ接觸開端

終ニ交換次第ニ付近ニ經由御車票又車票又車票又車票又車票又車票

ルルフト

六四月一日以降軍票價額平衡資金勘定ニ依ル軍票對儲備券實質ハ軍票
實質ニニ限り軍票實質ハ三月三十一日限り之ニ停止スルフト

但シ特定ノ場合當局ノ指示ニ依リ軍票實質ニ為スアトニ得
セ軍票價值平衡資金勘定ハ適當ノ時機ニ之ニ閉鎖スルフト

其ノ二軍票預金勘定

八金融機關ハ四月一日以降別段ノ指示ヲ受ケル迄ハ軍票預金勘定ヲ原

大日本帝國政府

府政國本大

大日本帝國文庫

ハ軍票販賣ハ四月一日以降此後、指示外安ふは事ハ軍票販賣額を半
其、二軍票販賣額を

チ軍票販賣半減資金斷定ハ應當、而猶ニテキ御通スルトキ
且之弊害、極合當固、詳示ニ近リ軍票販賣額大シオナレ
實ニテニ通日年票賣ハ三月三十一日是リテニ出ス事アリ

六圓員一日以降軍票販賣半減資金斷定ニ左山軍票販賣額を實ハ軍票

通ルトキ

兵金賃給額ハ四員一日以降此後、指示テ止ム軍票又ハ軍票半紙を受入
積荷又高額ハ時刻、指示テ止ム軍票又ハ軍票半紙を受入ノ事由ナリ

圖例ニ及ハ軍票又ハ軍票半紙を受入ノ事由ナリ

則トシテ存置シ得ルコト

但シ預金者ノ希望ニ依リ之ヲ儲備券預金勘定ニ切替フルコト

九金融機關ハ四月一日以降軍票預金ノ支拂ハ儲備券ニ依ルコト、此

ノ場合ノ軍票對儲備券換算率ハ軍票一八圓ニ付儲備券一〇〇元ノ

割合タルヘキコト

但シ軍票現札ヲ要セサル振替支拂（交換經由手形ノ支拂ハ之ニ準ス
ハ此限ニアラス

尙當局ハ特ニ必要アル場合は軍票ニ依ル支拂ヲ指示スルコトアルヘシ

大金融機關ニ四月一日以降別段ノ指示ヲ受ケル迄軍票預金勘定ニ軍

票又ハ軍票手形ヲ受入ルルコト

大日本帝国政府

署又ハ車票手形を受入ムロイ

廿金通路ノ四月一日以降假想ノ諸示ニ受キ出讓軍票所持證宝ニ連
尚唐風ハ禪ニ及要アヨ聯合軍票ニ付キ支拂キ諸示ムロイテシヘシ

ハ此題ニテモス

附之軍票休マ要ナセヨ連營支拂ヘ交換由手紙、支拂ハ玄ニ摩ス
附合本ハキロイ

ハ解合、軍票從歸時期將率ハ軍票一八國ニ付諸給一〇〇元、

大金通路ハ四月一日以降軍票付合、支拂ハ諸營連合軍票ニ附合本付
附之軍票休マ要ナセヨ連營支拂ヘ交換由手紙、支拂ハ玄ニ摩ス

附合本ハキロイ

廿七車票手形交換ハ四月一日以降別段ノ指示アル迄從前通り行フコト

右交換ニヨリ生スル交換尻ノ拂込ハ其ノ一部又ハ全部ニ付儲備券ヲ
以テ購スコトヲ得、又交換尻トナル銀行ハ交換尻ノ一部又ハ全部ニ
付儲備券ニ依ル拂込ヲ垣否セサルコト

廿八金融機關ノ軍票預金勘定ノ支拂ニ要スル儲備券資金ノ手當ニ付テハ

別途當局ニ於テ之ヲ定ムルコト

廿九金融機關ハ日本圓勘定預金ノ取扱若クハ軍票預金勘定ヨリ日本圓勘
定ニ切替チ爲スコトヲ得ス

但シ車及官舗係ノ預金ニ付テ尙ニ必要マル勧合ハ此限ニマラス

三十車票預金ヲ以テスル内地送金及邦人匯社ノ利息金又ハ余裕金内地回

府政國帝本日大

其ノ三、其ノ他ノ車票達懲繩懲務
此金繩機圖ハ四月一日以降別ニ指示スル場合除キ貸出爲替車票
總（日本關總）勘定、支拂ハ原則トシテ之ヲ備備券ニ依ルコト
右兩項ノ場合車票（日本關）對儘備券換算率ハ車票（日本關）一八
關ニ付備備券一〇〇元、割合ナルヘキコト

大日本帝国通志

大日本帝国憲政

開港税課税一〇〇元、聯合軍八千人

支那軍、聯合軍（日本國）、混成護衛軍（日本國）一八
艦（日本國）艦隊、支那軍（日本國）一千
海陸路糧八百具一日以糧糧之計取之並合各處平賈出海營繕草糧
其、三、其、頭、軍糧、船糧、糧、

金、糧、之、也、海、營、繕、草、糧、